

2025 年 12 月 1 日

株式会社 KUL

地域密着型ショッピングセンターで
「エコマミ公開講座」を開催しています
～地域の皆さまの暮らしに役立つ講演を実施～

株式会社 KUL（本社：大阪府大阪市中央区本町、代表取締役：吉田 滋）は、香芝市・広陵町と共催で「エコマミ公開講座」を令和4年度にスタートし、年2回（6月、11月）開催しています。本講座は、地元の畿央大学をはじめ奈良県内の大学の協力を得て、各分野で活躍している専門家が、地域の皆さまの関心が高い様々なテーマについて、わかりやすく講演するものです。当社スローガン「暮らしやすい」をデザインする」の具体的な取り組みの一つとして、生涯学習や文化的好奇心の探求等に寄与し、地域コミュニティの形成や地域の皆さまの暮らしに役立つことを目指しています。

【開催状況】

4つのテーマ「健康・長生き」「趣味・生涯学習」「子育て・教育」「生活・環境」から、毎回テーマを絞り、3名の講師による講演を実施しています。参加者アンケートでは「買い物の合間に参加しやすい」など、好評をいただいています。

【最新の講座】

2025年11月16日（日）、エコール・マミ南館（奈良県香芝市）2階のマミホールにおいて、「第8回エコマミ公開講座」を開催しました。当日は晴天で行楽日和の中、各講座に約20名が参加し、3名の講師の講演に耳を傾けていました。

今回のテーマは子育て・教育に関する内容が多かったため、小さいお子さま連れでも参加しやすいよう、会場の一部にフロアマットを敷いて実施しました。

第1話 「乳幼児期の“食べる”を考える

～ 子どもの発達と絵本で子育ての悩みにヒントを ～

講師：中川 愛先生（奈良教育大学 家庭科教育講座 准教授）

中川先生は、乳幼児期の食事の場面を分析し、子どもが自我の発達とともに主体性を発揮していく過程を説明しました。多くの方が悩む「偏食」について、子どもの立場からの説明や克服方法の話があり、参加者は熱心に聞いていました。

食の経験を広げるために、発達段階に応じた絵本の活用が望ましいとのことで、先生が選んだ絵本がフロアマットに多数並べられました。絵本の「繰り返し性」や「ページめくり」により、乳幼児の頭の中に物語のつながりが構成されるそうです。参加した子どもたちが自由に絵本を読むという微笑ましい光景も見られました。



第2話 「絵を通して見える子どもの心は感動がいっぱい！

～ 子どもが描いた絵の思いについて～

講師：永渕 泰一郎先生（畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授）

永渕先生は、実際に子どもが描いた絵を題材に、「子どもの絵はとても自然な行為から生まれた素朴な表現。この行為を大切に受け止めることができないと、大人と子どもの思いに“ずれ”が生じる。」と指摘しました。また、「子どもの”みたて”に蓋をして、大人は自分の見方や考えを押し付けていないか。」との問題提起もありました。子どもが自ら育とうとする力を信じるよう、大人が意識を変えることの重要性を説明しました。

講座では参加者が実際に短時間で絵を描く体験もあり、迷いながらも作画に熱中する姿が印象的でした。



第3話：「スポーツを算数・数学の力で攻略！ ～サッカー・野球・テニス・相撲などを通して算数・数学と親しむ～」

講師：嶽村 智子先生（奈良女子大学 理学部 数物科学科 准教授）

算数・数学と聞くと、苦手意識を持つ方も多いですが、嶽村先生は、そのような先入観を払拭するべく、身近なスポーツを題材に確率の考え方を利用して算数・数学に親しむ方法を紹介しました。

例えば、サッカーで攻撃と守備のどちらを強化すると勝利に近づくか、大相撲で相星の力士が3人いる場合に優勝者を決めるために行う巴戦で、対戦順によって優勝確率は変わるのか、テニスで実力差がある2人が対戦する場合に妥当なハンディキャップはどれぐらいか、といった設問です。親しみやすい内容で、参加者は「なぜそうなるのか」を考える貴重な時間を過ごしました。



第8回エコミ公開講座は、バラエティ豊かな講師陣による有意義な講演となり、参加者からは熱心な質問が寄せられ、地域住民の子育てや学びへの関心の高さがうかがえる充実した内容となりました。

当社は、ショッピングセンターの運営にとどまらず、サービスを通じて地域の皆さまに心からの笑顔を届けることを大切にしています。その実現のため、「暮らしやすい“をデザインする」というスローガンのもと、参加者から寄せられたアンケート結果も参考にしながら、今後も地域の方々の知的好奇心を満たし、暮らしに役立つ情報を当講座を通じて発信してまいります。

企業概要

会社名：株式会社 KUL

所在地：大阪府大阪市中央区本町四丁目 3-9 本町サンケイビル 19 階

代表者：代表取締役 吉田 滋

事業内容：地域社会における施設その他居住者等の利便に供する施設の建設、経営又は管理

URL：[株式会社KUL](#)

本件に関する問い合わせ先

株式会社 KUL 広報室 担当：遠藤、藤田

電話番号：06-6245-5050